



部の運営方針・課の目標設定書(平成31年度)

部コード	15	部名	教育総務部	部長名	丸 智彦
1. 部の運営方針(予算編成・実施計画策定方針などを踏まえて、基本計画の分野別計画や重点プロジェクト、所管に係る分野別基本計画の目標を考慮して、部の目標を達成するための方針を記入)				部の運営方針に対する課の目標への取組結果	
<p>○ 我孫子市教育大綱と我孫子市教育振興基本計画に基づいて教育行政を推進します。</p> <p>○ 学校教育の充実(「豊かな心の育成」、「確かな学力の育成」、「健やかな体の育成」)の推進を図り、『生きる力』の育成に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全市展開となる『小中一貫教育の推進』に努めます。各中学校区で作成したグランドデザインを達成すべく支援します。また、小中一貫教育基本方針に基づき作成した共通カリキュラムを、各中学校区で計画的に教育課程に組み込んで進められるよう支援します。</li> <li>・幼保小連携については、「交流」と「カリキュラム」で連携を深めていきます。</li> <li>・「主体的・対話的で深い学び」の視点で学力向上に努めます。</li> <li>・市費で配置している外国語指導助手(ALT)、ICT教育支援員、理数教育支援員、学校司書、スクールサポート教員、学級支援員等の非常勤職員や臨時職員の効果的な活用と配置に努めます。</li> <li>・教職員が、生き生きと健康でやりがいを持って子どもに向き合える環境となるように「我孫子市学校職員の働き方改革推進プラン」に基づき、取り組みます。</li> <li>・Q-U検査及びいじめアンケートを継続して実施し、学級経営を支援します。</li> <li>・給食における地産地消の推進をはじめ食に関する教育の充実やスポーツに関する教育を通して体力の向上に努めます。</li> <li>・子ども達が安心して快適に学べる教育・学習環境をつくるため「学校施設個別施設計画」を策定します。</li> <li>・信頼される学校づくりを推進するため、教職員のモラルアップ研修等を積極的に実施します。教育委員会と各学校の連携を密にし、風通しの良い組織体制と職場環境整備に取り組みます。</li> </ul> <p>○ 地域に根ざした教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土の歴史や文化に関する教育を充実させて郷土愛の育成を図ります。</li> <li>・学校評価、学校支援地域ボランティア活動、キャリア教育などを推進し、学校と家庭・地域が一体となった教育と開かれた学校づくりを目指します。</li> </ul> <p>○ 子どもの成長、自立への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自立への支援を図るため、就学支援制度などの活用を推進します。</li> <li>・いじめ防止対策推進条例及びいじめ防止対策基本方針に基づき、いじめを人権侵害と認識し未然防止に取り組みます。また、関係機関とも連携して取り組み、健全に子どもが成長できるよう引き続き支援していきます。</li> <li>・不登校の改善を目的としているヤング手賀沼は、施設のあり方及び施設整備を含めて再検討していきます。</li> </ul>				<p>計画的な備品購入や更新等を行うことで、子ども達が安心安全な学校生活を送ることができた。</p> <p>今年度策定した「学校施設個別施設計画」の課題となっている、①児童生徒数の減少地区での学校のあり方、②プール施設のあり方、③給食施設のあり方については、次年度に方向性を示したい。</p> <p>学校職員の働き方改革については、職員の意識変化がみられるので、引き続き学校と連携しながら進めていく。</p>	
				部の運営方針に対する部全体の総合評価	
				<p>概ね、部の運営方針通りに目標を達成することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設、備品等教育機器の更新、修繕等を行うことでより良い学習環境を整備することができた。防犯、防災の観点からの点検や改修も滞りなく進めることができた。</li> <li>・「学校施設個別施設計画」を策定した。今後は計画に基づき、市長部局と財政面等を協議しながら進めていく。</li> <li>・小中一貫教育が6中学校区で全面実施となった。また、小中一貫教育基本方針も改訂を行い、今後は共通カリキュラムの改定を行っていく。</li> <li>・各校で取組んでいる不登校、長欠対応適応教室の充実、及び教育研究所の様々な取組みの効果が始まっている。また、ヤング手賀沼を20番目の学校と考え、学習環境を整えていく。</li> </ul>	

課コード	02	課名	学校教育課	課長名	榊原 憲樹
2. 課の目標(部の運営方針を受けて課の取組方針を記入)				部の運営方針に対する課の目標への取組結果	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・個に応じたよりきめ細かな学習指導ができるようスクールサポート教員等の配置を適正に行います。</li> <li>・健康な子どもを育むために学校給食の充実を図ります。栄養教諭を中核とした「食に関する指導ハンドブック」の活用を図るとともに、給食に「我孫子産野菜の日」を設けるなど地産地消の推進、親子料理教室の開催等を行います。</li> <li>・児童が安全で安心な学校生活が送れるよう小学校に安全管理員を配置するとともに、通学路の安全点検、保護者及び地域住民への見守りの協力、学校施設、設備、備品の充実を図り教育環境を整えます。</li> <li>・学校評議員会議で学校評価を実施するなど、地域に開かれた学校づくりを一層推進します。</li> <li>・平成30年度に策定した「我孫子市立小中学校職員の働き方改革推進プラン」を学校職員、保護者、地域住民へ周知するとともに、改革内容を各学校が実践できるよう指導支援を継続していきます。また、安全衛生委員会において実践を振り返りPDCAサイクルで改善していきます。</li> </ul>				<p>○スクールサポート教員を必要な学校に配置し、個に応じたよりきめ細かな学習指導をできるようにした。</p> <p>○健康な子どもを育むために、栄養教諭を中核とした「食に関する指導ハンドブック」の活用を進めた。また、給食に「我孫子産野菜の日」を設けるなど地産地消の推進したり、親子料理教室を開催したりして、学校給食の充実を図ることができた。</p> <p>○児童が安全で安心な学校生活が送れるよう小学校に安全管理員を配置をしました。また、通学路の安全点検、保護者及び地域住民への見守りの協力、学校施設や設備、備品の充実等、安全な教育環境を整えることができた。児童生徒の交通事故による死亡等重大な事故は発生しなかった。</p> <p>○学校評議員会議を活用したり、学校評価を反映させたりしながら、地域に開かれた学校づくりを推進することができた。</p> <p>○平成30年度に策定した「我孫子市立小中学校職員の働き方改革推進プラン」を学校職員や保護者、地域住民へ周知し、改革内容を各学校が実践できるよう支援を行った。また、自動音声対応の導入により、始業前や放課後等、勤務時間外に電話対応する時間が確実に減り、業務改善につながった。学校評価の結果から、不満をもっている保護者の割合は小さい。今後も、市が進める業務改善と各学校で進める業務改善と意識改革により、一層の働き方改革を推進する必要がある。</p>	
3. 課の目標を達成する上での課題と対応(人員の配置、組織のあり方など)					
課内の管理、学務、学校給食、学校保健担当がそれぞれの事業を受け持っているが、繁忙期には的確かつ迅速に処理を要するため、担当間での協力、連携が極めて重要である。					

4. 原因分析・改善策	
(課長)	(部長)
<p>○スクールサポート教員の人材確保と共に、臨時的任用講師の人材確保が必要である。</p> <p>○健康な子どもを育むために給食の推進に、給食施設や職員の配置等は大きな影響を与える。学校施設個別施設計画における給食施設のあり方について、研究を進める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校施設個別施設計画」に基づき、今後の小中学校のあり方を引き続き検討していく。</li> <li>・学校予算の適正な執行に努めていく。</li> </ul>

5. 課の目標を達成するために取り組む事務事業										
事務事業名(個別事業)	重宝該当	施策コード	指標	単位	現況値	目標値	実績値	達成率(%)	評価	
1 スクールサポート教員の配置事業	重無	52102	スクールサポート教員の配置人数	人	6	7	6	85.71	現状	
2 小中学校配置職員管理事業	重5	52101	臨時職員配置定数(臨時用務員16名、事務補佐員6名、嘱託職)	人	23	23	23	100	現状	
3 教育扶助(要保護・準要保護児童生徒就学援助)事業	重4	52301	学校長の請求に基づき支給。	%	100	100	100	100	現状	
4 児童・生徒・教職員健康診断事業	重5	52101	実施者数/児童・生徒・教職員健診対象者	%	96	99	96	96.97	現状	
5 我孫子市学校保健会運営	重5	52101	生活習慣病予防検診実施者/対象者	%	54	80	54	67.5	現状	
6 日本スポーツ振興センター災害共済給付・任意保険給付事業	重5	52101	災害共済申請事務の減(申請件数)	件	974	800	833	96.04	現状	
7 学校給食備品管理事業	重5	52101	計画表に基づく、備品の設置率	%	133	80	78	97.5	現状	
8 学校給食管理運営事業	重5	52101	安心・安全でおいしい学校給食の実施率	%	100	100	94	94	現状	
9 我孫子産米及び我孫子産野菜の学校給食の導入事業	重5	52101	我孫子産米・野菜が給食で使用されていることを知っている児童	%	87	90	87.8	97.56	現状	
10 学校の環境衛生事業	重4	52104	基準値内校/全19校	%	100	100	100	100	現状	

5. 課の目標を達成するために取り組む事務事業										
	事務事業名（個別事業）	重 施 該 当	施 策 コ ー ド	指 標	単 位	現 況 値	目 標 値	実 績 値	達 成 率 (%)	評 価
11	小中学校管理運営事業	重4	52104	予算執行率	%	100	100	100	100	現状
12	小学校の安全管理員の配置	重4	52104	未事故であった小学校	校	13	13	13	100	現状
13	小中学校備品管理事業	重4	52104	予算執行率	%	100	100	100	100	現状
14	学校評議員制度の充実	重無	52201	学校評議員による学校評価及び改善への学校の取組み状況。	%	80	90	82	91.11	現状
15	小中学校給食調理業務の民間委託事業	重無	83202	円滑な給食調理業務の民間委託実施校数	校	18	18	18	100	現状
16	学級編制及び学籍管理（法令に基づく適切な事務）事業	重4	52104	適切な事務の遂行。	%	100	100	100	100	現状
17	学校給食施設設備整備事業	重5	52101	修繕・工事の実施率	%	100	100	0	0	現状

部の運営方針・課の目標設定書(平成31年度)

部コード	15	部名	教育総務部	部長名	丸 智彦
1. 部の運営方針(予算編成・実施計画策定方針などを踏まえて、基本計画の分野別計画や重点プロジェクト、所管に係る分野別基本計画の目標を考慮して、部の目標を達成するための方針を記入)				部の運営方針に対する課の目標への取組結果	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 我孫子市教育大綱と我孫子市教育振興基本計画に基づいて教育行政を推進します。</li> <li>○ 学校教育の充実(「豊かな心の育成」、「確かな学力の育成」、「健やかな体の育成」)の推進を図り、『生きる力』の育成に努めます。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・全市展開となる『小中一貫教育の推進』に努めます。各中学校区で作成したランドデザインを達成すべく支援します。また、小中一貫教育基本方針に基づき作成した共通カリキュラムを、全中学校区で計画的に教育課程に組み込んで進められるよう支援します。</li> <li>・幼保小連携については、「交流」と「カリキュラム」で連携を深めていきます。</li> <li>・「主体的・対話的で深い学び」の視点で学力向上に努めます。</li> <li>・市費で配置している外国語指導助手(ALT)、ICT教育支援員、理数教育支援員、学校司書、スクールサポート教員、学級支援員等の非常勤職員や臨時職員の効果的な活用と配置に努めます。</li> <li>・教職員が、生き生きと健康でやりがいを持って子どもに向き合える環境となるように「我孫子市学校職員の働き方改革推進プラン」に基づき、取り組みます。</li> <li>・Q-U検査及びいじめアンケートを継続して実施し、学級経営を支援します。</li> <li>・給食における地産地消の推進をはじめ食に関する教育の充実やスポーツに関する教育を通して体力の向上に努めます。</li> <li>・子ども達が安心して快適に学べる教育・学習環境をつくるため「学校施設個別施設計画」を策定します。</li> <li>・信頼される学校づくりを推進するため、教職員のモラルアップ研修等を積極的に実施します。教育委員会と各学校の連携を密にし、風通しの良い組織体制と職場環境整備に取り組みます。</li> </ul> </li> <li>○ 地域に根ざした教育の充実             <ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土の歴史や文化に関する教育を充実させて郷土愛の育成を図ります。</li> <li>・学校評価、学校支援地域ボランティア活動、キャリア教育などを推進し、学校と家庭・地域が一体となった教育と開かれた学校づくりを目指します。</li> </ul> </li> <li>○ 子どもの成長、自立への支援             <ul style="list-style-type: none"> <li>・自立への支援を図るため、就学支援制度などの活用を推進します。</li> <li>・いじめ防止対策推進条例及びいじめ防止対策基本方針に基づき、いじめを人権侵害と認識し未然防止に取り組みます。また、関係機関とも連携して取り組み、健全に子どもが成長できるよう引き続き支援していきます。</li> <li>・不登校の改善を目的としているヤング手賀沼は、施設のあり方及び施設整備を含めて再検討していきます。</li> </ul> </li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領の改訂に伴い、小中一貫教育基本方針の見直しを行い、改訂した。今年度より小中一貫教育が全市展開となり、ランドデザインに沿って各中区ごとに児童生徒の実態及び地域の実情に合った特色ある教育を進めた。</li> <li>・ICT教育の充実のために、全中学校区にタブレット型端末及びICT教育支援員を配置することができた。</li> <li>・いじめアンケートやQ-U検査の結果を活用し、いじめの早期発見・早期対応に取り組んだ。いじめ担当嘱託職員がいることで学校との連携が一層密となり、素早く対応することができた。</li> <li>・幼保小連携・接続カリキュラムを学習指導要領の内容に合わせて改訂した。幼保小の交流について継続的に進めてきたので、定着してきた。</li> <li>・学校支援地域本部事業の充実を図り、学校教育活動の支援をすることができた。</li> </ul>	
				部の運営方針に対する部全体の総合評価	
				<p>概ね、部の運営方針通りに目標を達成することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設、備品等教育機器の更新、修繕等を行うことでより良い学習環境を整備することができた。防犯、防災の観点からの点検や改修も滞りなく進めることができた。</li> <li>・「学校施設個別施設計画」を策定した。今後は計画に基づき、市長部局と財政面等を協議しながら進めていく。</li> <li>・小中一貫教育が6中学校区で全面実施となった。また、小中一貫教育基本方針も改訂を行い、今後は共通カリキュラムの改定を行っていく。</li> <li>・各校で取り組んでいる不登校、長欠対応適応教室の充実、及び教育研究所の様々な取組みの効果が出始めている。また、ヤング手賀沼を20番目の学校と考え、学習環境を整えていく。</li> </ul>	

課コード	03	課名	指導課	課長名	戸塚 美由紀
2. 課の目標(部の運営方針を受けて課の取組方針を記入)				部の運営方針に対する課の目標への取組結果	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子どもたちに学習指導要領の示す「生きる力」を育むために、基礎的・基本的な知識・技能を確実に身につかせ、思考力・判断力・表現力などを育成する教育を小中一貫教育の視点を持ち推進していきます。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・人生を拓く「確かな学力」を育てるために、教職員の資質能力向上に向けた各種研修を充実させます。</li> <li>・言語活動の充実、体験的活動の充実、道徳教育の充実を図り、豊かな心の育成、望ましい人間関係の育成を図ります。</li> <li>・全国学力・学習状況調査及び市独自の学力テストの結果を有効に活用し、実践の検証を行うとともに、指導の評価・改善を継続的にいきます。</li> <li>・健やかな体の育成を目指し、教育活動全体を通じた体力の向上推進を図るとともに、食に関する教育に努め、健康教育を推進します。</li> <li>・ICT(情報通信技術)環境の整備を進めるとともに、インターネットや携帯端末を活用する上で重要な情報モラルの教育を進め、情報化社会に参画する態度の育成を図ります。</li> <li>・子どもたちの発達段階に応じたキャリア教育を推進するとともに、学校支援地域本部など地域で学校教育を支える仕組み作りを支援します。</li> <li>・小学校における外国語教科化および国際理解教育推進のため、ALTの配置とその効果的な活用に努めます。</li> <li>・外国語・外国語活動において小中学校の円滑な接続ができるように、小学校教員、中学校教員とALT(外国語指導助手)との連携を密にします。</li> <li>・全市展開となる『小中一貫教育の推進』に向けて、各中学校区でどのような小中一貫教育に係る活動が行われるのかを一目で分かるようにデザイン化したランドデザインを基に、学校と保護者、そして地域がお互いに協働し合いながらそれぞれの中学校区の特色を生かした教育を展開していけるように努めます。</li> <li>・いじめ防止対策推進条例及び基本方針を踏まえ、市としての防止施策の実施及び各学校の防止具体策を支援します。また、いじめ防止対策委員会を年3回開催し、専門的かつ客観的な視点から、市及び学校における課題およびその防止策について検討し、その改善に努めます。</li> <li>・学校図書館の計画的活用を通して、児童生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に努めます。また、児童生徒の自主的・自発的な学習活動や読書活動を充実させるため、学校図書館利用に伴う学校司書の効果的配置及び活用に向けた取組を段階的に進めます。</li> </ul> </li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の育成のため、教職員の資質能力向上に向けた各種研修を実施することができた。</li> <li>・全国学力・学習状況調査及び市独自の標準学力テストの結果を分析し、実践の検証を行うとともに、授業改善にいかしていくよう周知した。</li> <li>・情報活用能力の育成のため、ICT環境の整備を進めるとともに、インターネットや携帯端末を活用する上で重要な情報モラル教育を進め、情報化社会に参画する態度の育成を図った。また、プログラミング教育の推進のため、カリキュラムを作成した。</li> <li>・子どもたちの発達段階に応じた、キャリア教育の全教育課程での実施を推進するとともに、学校支援地域本部など地域で学校教育を支える仕組み作りを強化した。</li> <li>・小学校における外国語教科化および国際理解教育推進のため、ALT(外国語指導助手)の配置とその効果的な活用に努めた。また、外国語・外国語活動の充実に向け、小中学校教員とALTとの連携、小学校専科とALTとの連携を強化し、小中学校の円滑な接続ができるような授業方法について検討を行った。</li> <li>・小中一貫教育推進基本計画を踏まえ、小中学校の実践を支援し、小中連携交流活動を計画的に実施した。また、小中一貫教育推進のため、各学校の取り組みを取材し、広報活動を積極的に行った。</li> <li>・いじめ防止対策推進条例及び基本方針を踏まえ、いじめ防止対策委員会を年3回開催した。専門的かつ客観的な視点から、アンケートの分析内容や、市及び学校の防止策を検証し、今後の取組について検討した。</li> <li>・学校図書館の計画的活用を通して、児童生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に努めた。また、児童生徒の自主的・自発的な学習活動や読書活動を充実させるため、学校図書館利用に伴う学校司書の効果的配置及び活用について研修会を実施し検証した。</li> </ul>	
3. 課の目標を達成する上での課題と対応(人員の配置、組織のあり方など)					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語・外国語活動の充実のため、ALTの増員及び指導方法に関する研修が必要です。</li> <li>・いじめの防止及び発生事案に対する対応を適切に行うために、きめ細かな学校への支援が必要です。</li> <li>・学校図書館環境の充実を図るため、学校司書の日常的配置とその効果について検証する必要があります。</li> <li>・学校支援地域本部事業推進のために、組織と連絡会議の充実が必要です。</li> </ul>					

4. 原因分析・改善策	
(課長)	(部長)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領の改訂に伴い、小中一貫教育カリキュラムの改訂を行う。</li> <li>・小中一貫教育の推進や学力向上に向けて、ALTやICT教育支援員や学校司書の効果的配置や活用について、引き続き検証する。</li> <li>・「主体的・対話的で深い学び」の授業が実践できるよう、教職員の更なる資質向上を目指す。</li> <li>・いじめの未然防止や早期発見に向けて、アンケートや学校の取組について、引き続き検証する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各中学校区で作成したランドデザインにそって、今年度、小中一貫教育の全市展開をした。また学習指導要領の改訂に伴い、基本方針の改訂を行った。来年度は、カリキュラム改訂をすすめ、更なる学校支援を続けていきたい。</li> <li>小学校新学習指導要領の完全実施となり、小学校英語が教科化したので、引き続きALTの増員要望をしていく。</li> </ul>

5. 課の目標を達成するために取り組む事務事業									
事務事業名(個別事業)	重宝該当	施策コード	指標	単位	現況値	目標値	実績値	達成率(%)	評価
1 キャリア教育の推進	重無	52201	「Abi-キャリア」を自校の教育課程(年間指導計画)に明示した	校	6	10	3	30	現状
2 国際理解教育の推進	重無	43102	ALTの年間のべ勤務日数	日	2,592	2,808	2,592	92.31	現状
3 学校支援事業の充実	重無	52201	学校への支援ボランティアに参加したのべ人数	人	42,062	45,000	44,592	99.09	現状
4 学力向上研修	重無	52102	標準学力調査結果の活用法研修会を授業改善に活かされたか(アンケート)	%	62.3	70	75	107.14	現状
5 小中学校への要請訪問指導	重無	52102	要請訪問の延べ人数	人	132	80	148	185	現状
6 小中学校体育・文化活動事業	重5	52101	市内の体育活動や小中体育連盟等の活動費助成割合	%	100	100	100	100	現状
7 我孫子市学校教育施策の策定、編集	重無	52102	関係者への配付率	%	100	100	100	100	現状
8 教職員資質向上研修	重無	52102	「教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活	%	90	90	98	108.89	現状
9 少年センター業務	重4	52302	触法少年への積極的な声かけ活動の展開で安全な暮らしを確保す	人	750	800	861	107.63	現状
10 小中学校コンピュータ教育の推進	重無	52102	教育用コンピュータ1台あたりの児童生徒数	人	9.94	9.88	9.59	103.02	現状

5. 課の目標を達成するために取り組む事務事業										
事務事業名（個別事業）		重 施 該 当	施 策 コ ー ド	指 標	単 位	現 況 値	目 標 値	実 績 値	達 成 率 (%)	評 価
11	子ども議会	重無	52202	未実施年	数	0	0	0	0	現状
12	ふるさとカリキュラムの実施	重無	52202	自校の教育課程に「Abi-ふるさと」を位置づけた学校数の割合	%	97.7	100	100	100	現状
13	学級経営の支援	重無	52102	Q-U検査の結果や今後の学級経営について複数で検討した学級	%	100	100	100	100	現状
14	幼保小連携	重5	52101	「我孫子市幼保小連携・接続カリキュラム」を基にテーマを設定	地区	0	5	5	100	現状
15	小中一貫教育の推進	重4	52103	Abi☆小中一貫カリキュラム授業の実施	回	0	38	38	100	現状
16	いじめ防止対策事業	重4	52302	我孫子市いじめ防止等に関する施策の実施	回	0	8	8	100	現状
17	学校図書館活用の推進	重無	52102	全ての学年において、授業者が学校図書館や市民図書館の図書を	校	0	4	18	450	現状

部の運営方針・課の目標設定書(平成31年度)

部コード	15	部名	教育総務部	部長名	丸 智彦
1. 部の運営方針(予算編成・実施計画策定方針などを踏まえて、基本計画の分野別計画や重点プロジェクト、所管に係る分野別基本計画の目標を考慮して、部の目標を達成するための方針を記入)				部の運営方針に対する課の目標への取組結果	
<p>○ 我孫子市教育大綱と我孫子市教育振興基本計画に基づいて教育行政を推進します。</p> <p>○ 学校教育の充実(「豊かな心の育成」、「確かな学力の育成」、「健やかな体の育成」の推進を図り、『生きる力』の育成に努めます。)</p> <p>・全市展開となる『小中一貫教育の推進』に努めます。各中学校区で作成したグランドデザインを達成すべく支援します。また、小中一貫教育基本方針に基づき作成した共通カリキュラムを、全中学校区で計画的に教育課程に組み込んで進められるよう支援します。</p> <p>・幼保小連携については、「交流」と「カリキュラム」で連携を深めていきます。</p> <p>・「主体的・対話的で深い学び」の視点で学力向上に努めます。</p> <p>・市費で配置している外国語指導助手(ALT)、ICT教育支援員、理数教育支援員、学校司書、スクールサポート教員、学級支援員等の非常勤職員や臨時職員の効果的な活用と配置に努めます。</p> <p>・教職員が、生き生きと健康でやりがいを持って子どもに向き合える環境となるように「我孫子市学校職員の働き方改革推進プラン」に基づき、取り組みます。</p> <p>・Q-U検査及びいじめアンケートを継続して実施し、学級経営を支援します。</p> <p>・給食における地産地消の推進をはじめ食に関する教育の充実やスポーツに関する教育を通して体力の向上に努めます。</p> <p>・子ども達が安心して快適に学べる教育・学習環境をつくるため「学校施設個別施設計画」を策定します。</p> <p>・信頼される学校づくりを推進するため、教職員のモラルアップ研修等を積極的に実施します。教育委員会と各学校の連携を密にし、風通しの良い組織体制と職場環境整備に取り組みます。</p> <p>○ 地域に根ざした教育の充実</p> <p>・郷土の歴史や文化に関する教育を充実させて郷土愛の育成を図ります。</p> <p>・学校評価、学校支援地域ボランティア活動、キャリア教育などを推進し、学校と家庭・地域が一体となった教育と開かれた学校づくりを目指します。</p> <p>○ 子どもの成長、自立への支援</p> <p>・自立への支援を図るため、就学支援制度などの活用を推進します。</p> <p>・いじめ防止対策推進条例及びいじめ防止対策基本方針に基づき、いじめを人権侵害と認識し未然防止に取り組みます。また、関係機関とも連携して取り組み、健全に子どもが成長できるよう引き続き支援していきます。</p> <p>・不登校の改善を目的としているヤング手賀沼は、施設のあり方及び施設整備を含めて再検討していきます。</p>				<p>長欠児童生徒対策事業の一つである、適応指導教室「ヤング手賀沼」の運営について、「学校や家庭以外で安心できる居場所づくりをする」「集団活動を通して自立心、社会への適応能力を養う」を目標に事業を推進した。</p> <p>特に、めざす児童生徒像を「自分の気持ちを表現する」「様々な活動に積極的に参加し、楽しむことができる」「目標を持ち、それを達成するために行動ができる」とし、学習活動、体験活動、教育相談を実施し、「ヤング手賀沼」に通級することで不登校の改善を図れた。また、児童生徒の身体に合った机と椅子を、市内小中学校の協力を得て、揃えることができ、学習環境を整えることもできた。</p>	
				部の運営方針に対する部全体の総合評価	
				<p>概ね、部の運営方針通りに目標を達成することができた。</p> <p>・施設、備品等教育機器の更新、修繕等を行うことでより良い学習環境を整備することができた。防犯、防災の観点からの点検や改修も滞りなく進めることができた。</p> <p>・「学校施設個別施設計画」を策定した。今後は計画に基づき、市長部局と財政面等を協議しながら進めていく。</p> <p>・小中一貫教育が6中学校区で全面実施となった。また、小中一貫教育基本方針も改訂を行い、今後は共通カリキュラムの改訂を行っていく。</p> <p>・各校で取組んでいる不登校、長欠対応適応教室の充実、及び教育研究所の様々な取組みの効果が始まっている。また、ヤング手賀沼を20番目の学校と考え、学習環境を整えていく。</p>	



課コード	04	課名	教育研究所	課長名	遠藤 美香
2. 課の目標(部の運営方針を受けて課の取組方針を記入)				部の運営方針に対する課の目標への取組結果	
<p>1. 特別支援教育を充実させ、発達障がいを含めた障がいのある児童生徒一人一人の教育的ニーズに対応する教育を進めていきます。</p> <p>(1) 教育研究所アドバイザー事業等を通して、児童生徒の支援の充実及び特別支援教育コーディネーターを核にした校内委員会の機能充実と強化に努めます。</p> <p>(2) 児童生徒への指導・支援が適切かつ効果的に行われるよう、学級支援員の適正な配置と確認を行うとともに、個別の教育支援計画・指導計画の作成と活用の充実を図ります。</p> <p>(3) 児童生徒の将来も見据えた切れ目ない支援に向けて、関係機関との連携を図ります。</p> <p>2. 不登校の予防・解消を図られるよう、学校との協力体制を強化して、児童生徒及び保護者を支援していきます。</p> <p>(1) 心の教室相談員(在宅訪問指導員)や我孫子市適応指導教室「ヤング手賀沼」、教育研究所等の関係機関と学校との連携を密にし、支援体制を強化して学校教育を支えていきます。</p> <p>(2) 長欠対策連絡協議会を充実させ、学校と関係機関との連携とともに、小・中学校間の接続を円滑にして、連携をさらに強化します。</p> <p>(3) 適応指導教室「ヤング手賀沼」は、30年度に実施した耐震診断により安全性が確認されたため、今後施設のあり方及び施設整備についてさらに検討を進めます。</p> <p>3. 地域学習の充実を図るため、社会科副読本「わたしたちの我孫子」及び学習図鑑「ふるさと手賀沼」の次回改訂に向けた編集作業を進めます。</p> <p>4. 「小中学生のためのいじめ・悩み相談ホットライン」を継続し、引き続き関係機関と連携しながら、いじめの早期発見・早期対応に努めるとともに、児童生徒の困り感の軽減や解消に努めます。</p>				<p>1. 特別支援教育の推進</p> <p>(1) 特別支援教育コーディネーターの質の向上が図れるように、学校の状況に合わせた支援をすることができた。</p> <p>(2) 平成30年度に改定した個別の教育支援計画が活用されるように、巡回事業で確認し、指導することができた。</p> <p>(3) 令和2年度から、我孫子市の特別支援教育について検討する専門家チームを立ち上げる準備をすることができた。</p> <p>2. 長欠児童生徒対策事業の推進</p> <p>(1) 教育研究所が中心となって、心の教室相談員や各関係機関と連携し、学校支援体制を推進することができた。</p> <p>(2) 適応指導教室「ヤング手賀沼」の通級申請が多く出され、ヤングに通級する児童生徒が増加した。特に小学生の通級者が増加した。</p> <p>3. 副読本の編成と教科書配布</p> <p>(1) 「わたしたちの我孫子」「ふるさと手賀沼」の改訂に向けて編集会議を経過どおり実施した。令和2年度の小学校教科書改訂に向けての作業を実施した。</p> <p>4. 「小中学生のためのいじめ・悩み相談ホットライン」については、相談件数が減少した。時代に合わせた相談方法を検討する必要がある。</p>	
3. 課の目標を達成する上での課題と対応(人員の配置、組織のあり方など)					
<p>1. 相談事業やアドバイザー事業の推進と充実のために、学校とのさらなる連携が必要である。</p> <p>2. 児童生徒個々の教育的ニーズに対応した支援を充実させるために、学級支援員の増員と適正配置が必要である。</p> <p>3. 不登校のさらなる解消を図るために、関係機関と学校との密接な連携や小中学校間の接続を円滑にする取組み、家庭支援を組織的に行うことが必要である。</p> <p>4. 2020年度のヤング手賀沼大型改修に向けて、検討を進めていく必要がある。</p>					



4. 原因分析・改善策	
(課長) 特別支援教育の推進については、専門家チームと事業を検討しながら、個別の指導計画を改定する。長欠児童生徒対策事業については、小中学教職員と協力しながらさらなる不登校の解消に努める。不登校のサインを見逃さず、そのサインを見つけた時の初期対応について検証しなければならない。また、ヤング手賀沼の個別施設計画策定に当たり、事業の見直しをし、人員について検討する。教育・発達相談については、相談員の質の向上を今まで以上に言い、保護者や本人の相談ニーズに的確に答えられるようにする。切れ目ない支援体制を、療育・教育システムの構築を関係機関で推進する。特に就学相談、教育支援委員会の実施方法を改善する。	(部長) 不登校児童生徒数が増加傾向にあることを懸念している。若年層教員の多い学校現場であるので、今後、一層の組織的対応が必要と感じている。校長会、教頭会で伝えていく。ヤング手賀沼に通う子ども達が、学校と同じような学習環境となるように努めていく。

5. 課の目標を達成するために取り組む事務事業									
事務事業名(個別事業)	重宝該当	施策コード	指標	単位	現況値	目標値	実績値	達成率(%)	評価
1 発達障害のある児童・生徒の就学指導	重4	52301	相談人数・審議人数	%	100	100	100	100	現状
2 小中学校教師用教科書及び指導書の配付	重無	52102	配布対象に対する教師用教科書、指導書配付率	%	100	100	100	100	現状
3 教職員研究論文の発行	重無	52102	論文内容の充実度	%	90	100	100	100	現状
4 スーパーバイザー派遣事業	重4	52301	指導・助言が役に立った率・満足度(派遣校にアンケートを実施)	%	90	100	100	100	結合
5 学級支援員派遣事業	重4	52301	対象児童生徒への配置率	%	100	100	100	100	現状
6 教育研究所巡回事業	重4	52301	「個別の教育支援計画・個別の指導計画」作成率	%	95	100	100	100	現状
7 特別支援教育に関する研修会	重4	52301	受講者の理解度及び満足度(受講者へのアンケートによる)	%	85	100	87	87	拡充
8 教育研究所アドバイザー事業	重4	52301	アドバイザーの支援が役に立った率・満足度(全校にアンケート)	%	80	100	92	92	結合
9 就学相談事業	重4	52301	就学相談で助言した就学先と保護者が選択した就学先的一致率	%	79.5	80	82.6	103.25	現状
10 長欠対策事業	重4	52301	受理した相談の解消率	%	60	70	65	92.86	現状

5. 課の目標を達成するために取り組む事務事業										
事務事業名（個別事業）		重 施 該 当	施 策 コ ー ド	指 標	単 位	現 況 値	目 標 値	実 績 値	達 成 率 (%)	評 価
11	教育相談・発達相談事業	重4	52301	継続ケースの保護者にアンケートを実施し、相談の満足度をはか	%	98	100	90	90	現状
12	適応指導教室「ヤング手賀沼」の運営	重4	52301	ヤング手賀沼に通級している児童生徒の出席率	%	53	60	30	50	見直し
13	副読本（社会科副読本「わたしたちの我孫子」）の改訂	重無	52202	内容を検討し指導計画及び評価問題を改訂した割合	%	80	100	100	100	現状
14	副読本（学習図鑑「ふるさと手賀沼」）の改訂	重無	52202	当該年度の第8版編集作業計画のうち実施した割合	%	80	100	100	100	現状
15	小中学生のためのいじめ・悩み相談ホットライン	重4	52302	児童生徒の相談件数	件	40	50	27	54	現状